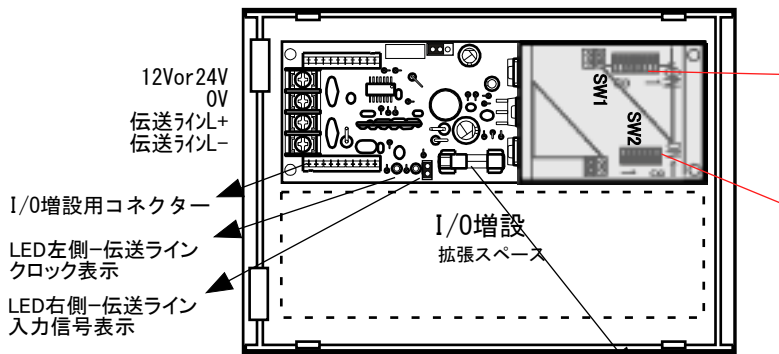
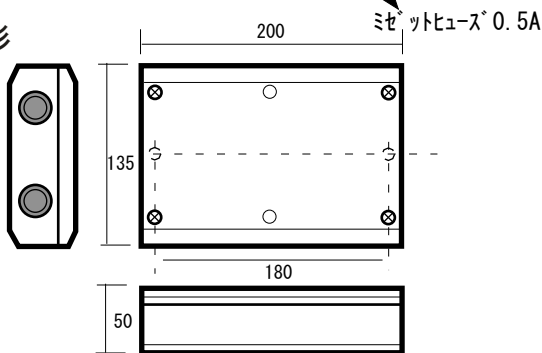


● 特徴

- ・ユニバーサルラインの親局を内蔵した基本のユニットです。
伝送ライン上のサブユニット同士で信号をやりとりする時に使用する伝送用電源です。
- ・このユニットに接続する2本の線が伝送ラインになります。後はこのラインに入力・出力のサブユニットを接続することで双方向伝送が可能になります。
- ・内部に8点入力もしくは8点出力基板1枚が拡張できます。



● 外形

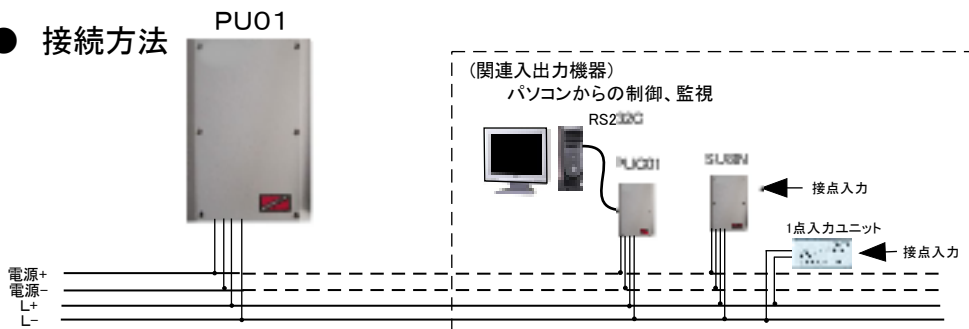


● 動作モード

ジャンパー切替で2つのモードがあります。

- ・メイン 伝送クック出力あり（標準設定）
 - ・サブ 伝送クック出力なし。多点I/Oの伝送I/Fとして使用する場合
- （注）メインモードや増設モードに設定した伝送主基板を、同ライン上に2つ以上接続しないでください。伝送クックが当たって故障の原因となります。**

● 接続方法



● 仕様

電源電圧	DC12V/DC24V兼用もしくはAC100V（ACアダプターにて）
消費電流	400mA（突入電流1A）
クロック数	256（128・64 高速取込み時。※オプション）
クロック周波数	約512Hz
クロック電圧幅	+24V・0V・-10V
質量	約410g

→ON 入力設定SW
設定方法
1 増設した入力基板の先頭のアドレス-1に合わせる
8 (SW1~8の2進数合計をONする)

ON← 出力設定SW
設定方法
8 増設した出力基板の最後のアドレスに合わせる
1 (SW1~8の2進数合計をONする)

アドレス設定 ※
左図のULP03の放熱フィンの下にあるチップSWで設定します。それぞれのSWに下記の2進数が割付けてあります。

SWNo	2進数
1	1
2	2
3	4
4	8
5	16
6	32
7	64
8	128

例
右側に増設する入力基板（SR81N）を81から使う場合
81-1=80なので16+64=80
SW. No 5と7をON

例
右側に増設する出力基板（SR8RY）の最終が48の場合
16+32=48 SW. No 5と6をON

※ アドレス
時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/OFF状態が入ります。通常このアドレスは256ありこのアドレス=接点信号のI/O番号となります。

